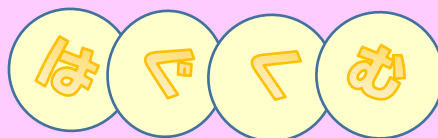




センターだより



夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども

四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002

2023年も、残すところ15日ほどです。この時期、「今年の重大ニュース」が話題になりますが、あなたのまわりではどのようなニュースや出来事が、ありましたか。

当幼児教育センターでも、センターならではのニュースにあふれたスタートの年でした。幼児教育・保育の質の向上のため、保育者の皆様と共に駆け抜けた感があります。

40講座の研修も、4講座を残すのみとなりました。アーカイブ配信は、今ラインナップされている研修を当分の間、継続配信します。見逃した研修、もう一度知りたい内容など、ご活用ください。

そして、来年も、皆様にとって良い年であることを幼児教育センター職員一同願っております。

また、「こどもまんなか社会」実現のために、2024年も子どもに関わる大人の多幸感も尊重しながら、「こどもの権利擁護」のための幼児教育・保育を実現していくためにつながっていきましょう。

報告

四日市市幼児教育・保育研究協議会事務局より

幼児教育センターでは、10月16日(月)と12月6日(水)の2回にわたり、三重大学教育学部教授富田昌平氏を会長とし、各機関、施設の代表者10名の構成員から成る四日市市幼児教育・保育研究協議会を開催しました。

社会状況を見据え「こどもの権利」を中心に、幼児教育・保育の在り方に対して、忌憚のない意見を交流し合い、子どもたちの未来を展望し、協議を重ねました。

多様な意見を、研究協議会事務局である幼児教育センターとして、前向きに受け止め、今後のセンター運営に活かしていきたいと思っております。

また、研究協議会の中で、「四日市市就学前教育保育カリキュラム」の策定に向けて協議いたしました。

「乳幼児期の子どもの育ちと学びに携わる皆様が、本カリキュラムを十分に活用していただき、

これからの時代に求められる力を確実に身に付け、子どもたち一人ひとりのもつ可能性を最大限に伸ばす教育・保育の実現に向けて、共に歩んでくださることを願っております。」(「四日市市就学前教育保育カリキュラム はじめにより抜粋」とあるように、就学前施設の幼児教育・保育が、一人ひとりの子どもの未来につながっていけるよう共に取り組んでいきたいと思っています。





令和5年12月6日(水)7日(木)8日(金) 令和5年度保育実践充実推進のための中央セミナー・幼児教育の理解・発展推進事業(中央協議会)が開催され(こども家庭庁・文部科学省主催)、センター職員が参加しましたので、国の動向をポイントとなるワードでご紹介します。

- ・幼児教育・保育の質について
- ・こどもの権利について
- ・小学校との接続について

ポイントワード!

こどもが愛される
保育とは

こども家庭庁と「子ども基本法」の理念に則った「幼児期までのこどもの育ちの5つのビジョン」

幼児教育・保育の質とは、主観的で多視点からとらえられるものがある。

保育者自身の内省

接続は体制づくりから

架け橋プログラムは、学びの連続を目的とし、内容は、2年間のカリキュラム編成とし、地域単位で実施

遊びは子どもが主体的に生きる権利

こどもの権利条約の4つの原則

令和5年度公開保育研究が3ブロックで開催されました

内部幼稚園 11月10日 保々こども園 12月7日 橋北こども園で実施 12月8日

保育公開及び参加、ありがとうございました。

子どものやりたいという思いを基本にごっこ遊びが展開されていて、学びになりました。

子どもと対等な立場で一緒に保育をつくりあげていきたいです。

遊びのプロセスが見えることや、遊びが混在しない環境等、たくさんの学びがありました。

